

吉野町小中一貫教育校 新校舎等建設基本設計 [概要版]

～ 9年間の学びと生活をつなげる、光と風と緑の校舎～

完成イメージ図



開校までのスケジュール

	令和元年 (2019年)				令和2年 (2020年)								令和3年 (2021年)								令和4年 (2022年)																			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月												
設計						開始	—————														完了																			
工事																		着手	入札	着工	————— 工事期間								完了	—— 開校準備		開校								

※社会情勢等により、工事スケジュール(着手時期を含む)は変更となる場合があります。

小中一貫教育校 配置図

新校舎の配置計画

新校舎は、グラウンド内の体育館西側に、既存中学校校舎の玄関側を起点として南に向かって増築するかたちになります。既存中学校校舎とのバリアフリーにも配慮し、障がいの有無や年齢、体格に関わらず全ての児童生徒や教職員が行き来しやすい動線を実現しています。

駐車場拡張計画

菜園を移設し、集いのひろばを縮小(フェンスを一部撤去)することで、教職員および来校者用の駐車場を確保します。

児童生徒用の新しい校舎玄関(昇降口)をグラウンド側へ

児童生徒用玄関を、新校舎と中学校校舎の接続部のグラウンド側に配置。玄関の位置を変えたことで、児童生徒と自動車の動線を分け、安全な登下校の環境を確保します。

グラウンド西側土壌改良計画

水はけの悪いグラウンド西側の表面改修を行います。

妹山側水路改良計画

水の流れを良くするため、水路の隅切り等改修を行います。

防球ネット改修計画

老朽化した防球ネットを撤去して新たに新設します。

南門を新設し、児童生徒の新たな登下校通用門に

徒歩通学と自転車通学は、新設した南門から登下校します。駐輪場も新たに設け、小中一貫教育校の新しい玄関口として整備します。北門から登下校する児童生徒の通学路は、集いの広場から校舎西側を通るルートになります。

北側側溝改修計画

自転車置き場裏の側溝を改修します。また、土手沿いの桜の木を一部伐採するなど周辺環境整備を行います。

既存中学校玄関を来校者専用玄関に

児童生徒用玄関を新たにグラウンド側に設けることで、既存中学校玄関を来校者専用玄関に改修します。

ふれあいコンコース整備

屋内外の空間を繋ぎ、連続性を持たせることで新たな交流の場として整備します。また、新校舎と既存体育館を繋ぐ渡り廊下を整備します。

小学生用サブアリーナ整備

小学生が安全に遊べるサブアリーナを既存中学校の格技室を利用して整備します。

安全な学校プール計画

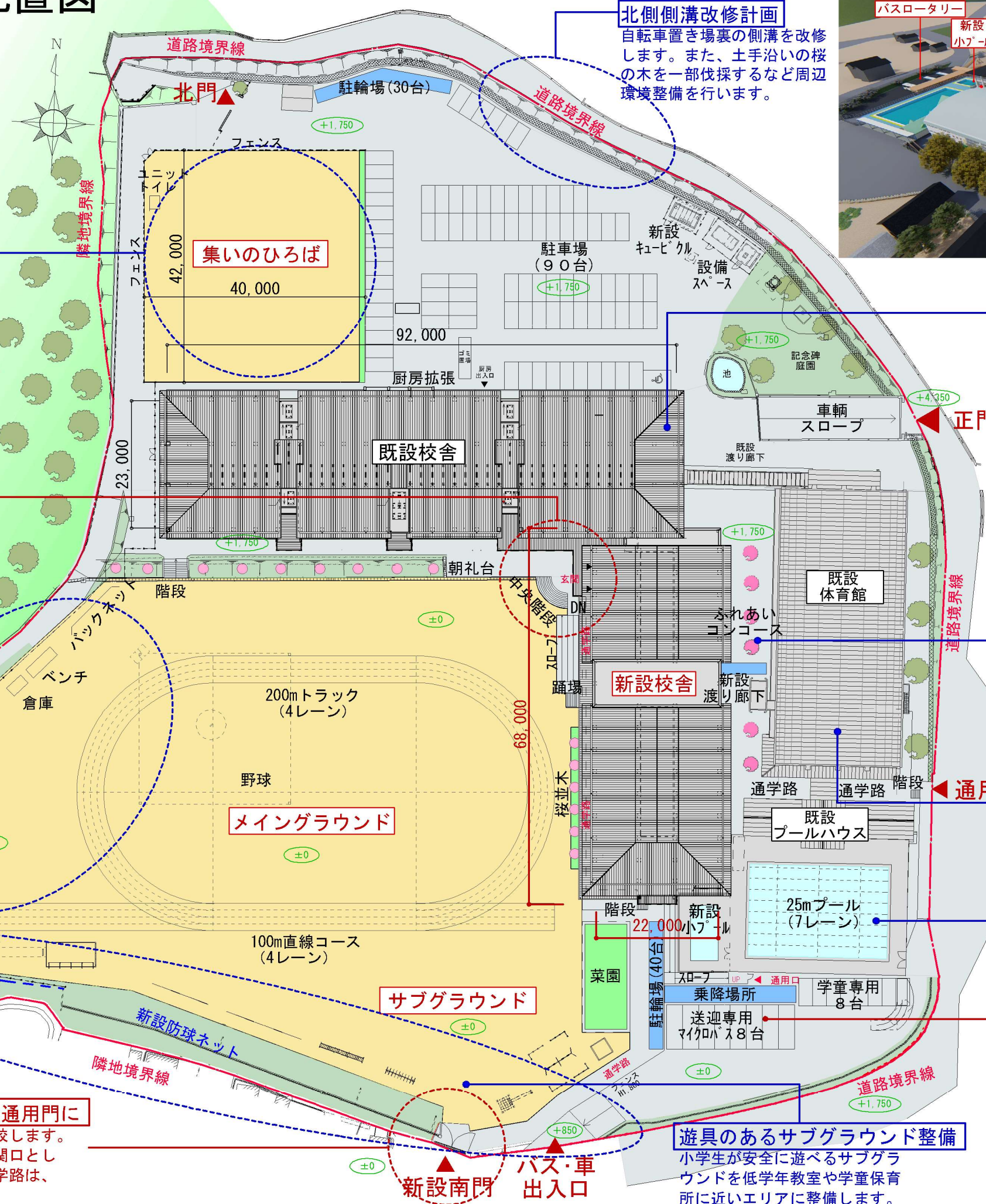
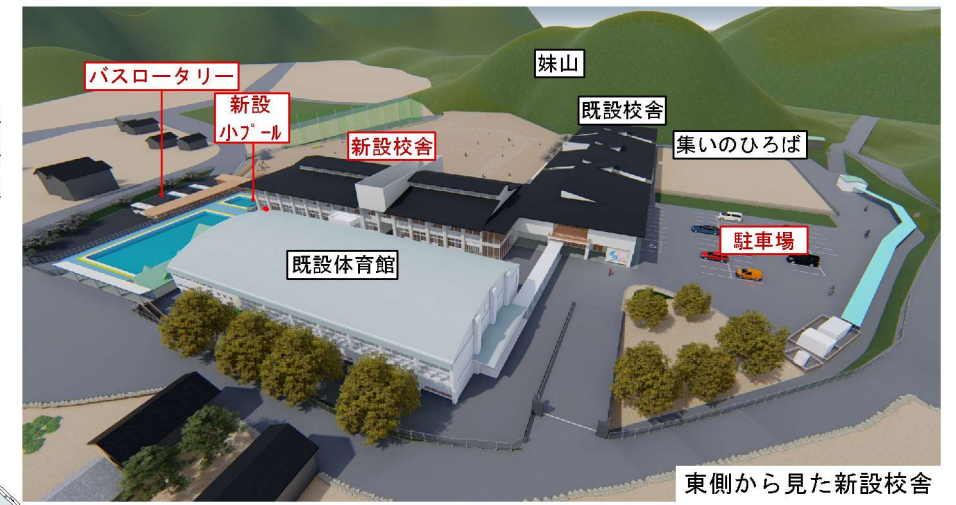
小学生(低学年)の安全に配慮した小プールを新たに整備します。

安全なバスロータリー整備

小中一貫教育となり増設されるバスに対応するため、新たにバスロータリーを整備し、安全な登下校を可能にします。学童保育所の駐車スペースとしても活用します。

遊具のあるサブグラウンド整備

小学生が安全に遊べるサブグラウンドを低学年教室や学童保育所に近いエリアに整備します。



小中一貫教育校 平面図

ICT教育環境を備えた教室

全普通教室に文科省GIGAスクール構想に対応した電子黒板機能や高速インターネットなどのICT教育環境を整備します。これらを使う授業は、子どもたちが将来に必要な生きる力を生みます。

給食調理室の拡張計画

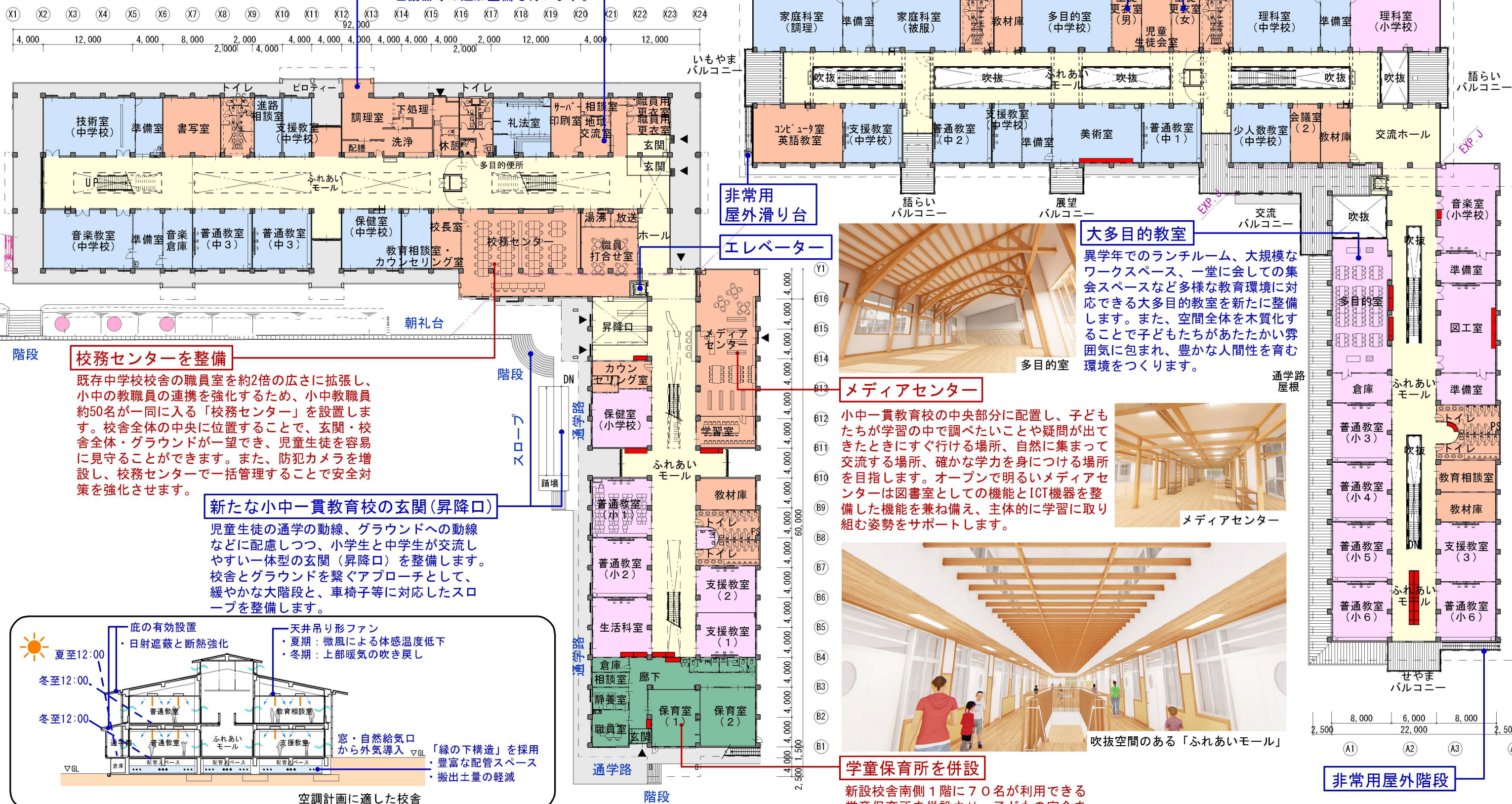
小中一貫教育に伴い、最大350食の給食調理とアレルギー食への対応を可能にするため、増築により厨房面積を拡張します。また、調理機器等の追加整備も行います。

地域交流室を新たに整備

開かれた学校を目指し、地域やボランティア団体が利用できる地域交流のための部屋を整備します。

児童生徒用更衣室を拡張

小学生と中学生が共用できるように、既存中学校更衣室を2倍の大きさに拡張します。



大多目的教室

異学年でのランチルーム、大規模なワークスペース、一堂に会しての集会スペースなど多様な教育環境に対応できる大多目的教室を新たに整備します。また、空間全体を木質化することで子どもたちがあたたかい雰囲気になれ、豊かな人間性を育む環境をつくります。

メディアセンター

小中一貫教育校の中央部分に配置し、子どもたちが学習の中で調べたいことや疑問が出てきたときにすぐ行ける場所、自然に集まって交流する場所、確かな学力を身につける場所を目指します。オープンで明るいメディアセンターは図書室としての機能とICT機器を整備した機能を兼ね備え、主体的に学習に取り組む姿勢をサポートします。



学童保育所を併設

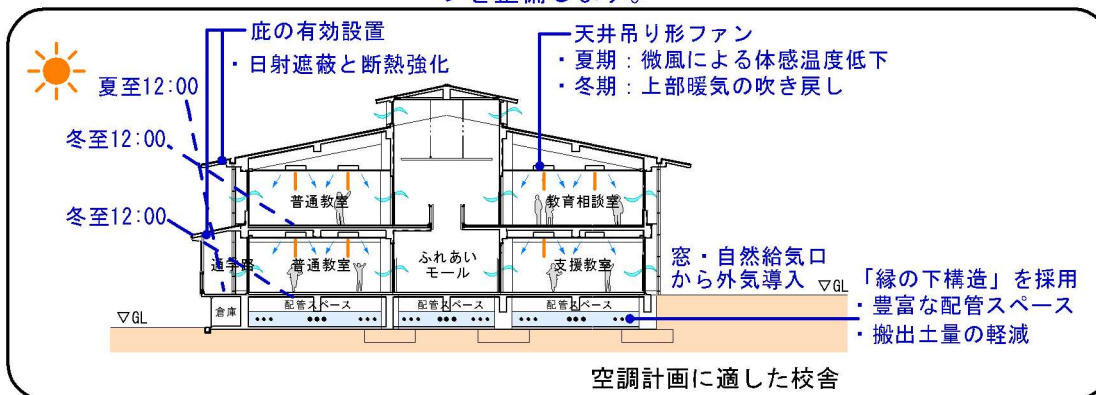
新設校舎南側1階に70名が利用できる学童保育所を併設させ、子どもの安全を守る場として、また、成長支援を行う場として運営します。南側のバスロータリーには保護者のお迎え用駐車場も整備します。

校務センターを整備

既存中学校校舎の職員室を約2倍の広さに拡張し、小中の教職員の連携を強化するため、小中教職員約50名が一同に入る「校務センター」を設置します。校舎全体の中央に位置することで、玄関・校舎全体・グラウンドが一望でき、児童生徒を容易に見守ることができます。また、防犯カメラを増設し、校務センターで一括管理することで安全対策を強化させます。

新たな小中一貫教育校の玄関(昇降口)

児童生徒の通学の動線、グラウンドへの動線などに配慮しつつ、小学生と中学生が交流しやすい一体型の玄関(昇降口)を整備します。校舎とグラウンドを繋ぐアプローチとして、緩やかな大階段と、車椅子等に対応したスロープを整備します。



1階平面図 1:500

2階平面図 1:500